

ソフトバンクグループが自己株式の取得を決議—格付への影響は軽微

以下は、ソフトバンクグループ株式会社（証券コード：9984）の自己株式取得についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 本日、当社は自己株式取得に係る事項を取締役会で決議したと発表した。取得期間は19年2月7日から20年1月31日までであり、株式の取得価額の総額は6,000億円（上限）となる。
- (2) 本件自己株式取得により、親会社の所有者に帰属する持分（自己資本）は減少する。しかし、取得する自己株式の総額は、自己資本（18年12月末）の8%程度である。自己資本の実質的なバッファとなっている保有上場有価証券の含み益を考慮すれば、その影響はさらに小さくなる。本件自己株式取得のための資金には、子会社ソフトバンク株式会社の新規上場に伴う保有株式の一部売出しにより受領した手取金を充当する予定であり、外部からの資金調達は不要である。以上より本件自己株式取得による財務上の変化は大きなものではなく、格付への影響は軽微であるとJCRでは判断している。

（担当）千種 裕之・本西 明久

【参考】

発行体：ソフトバンクグループ株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル